

例会報告：2013年5月21日（晴れ）第1798回年通常例会

に現在城北ロータリーでは職業奉仕委員会というのは消えてしまっているの復活させたらどうなのかなということを思います。クラブの細則を変える事が出来るのであれば、私の年度で変えても良いのかなと考えております。まだまだ実際には変える所があるのですが、CLPの一番大きな所は委員会構成だと感じております。それから未来の夢計画の事も私の年度で皆さんとお話を進めたいのですが、ロータリーアンだけではなく、城北ロータリーの場合はせつかくロータリーファミリーである、ローターアクトですとか、絆友会、ローテックスのメンバーもいます。フランスに留学した島田綾子さんが地区でローテックスの活動を一生懸命やっており、現在副会長だそうです。そんな事も含めると多くのロータリーファミリーがいますので、そんな若い世代と話をしながら未来の夢計画が作れば理想的かなと私は考えております。そんな事も含めもっと、もっと魅力のあるクラブにして行こうと思っておりますので、これからも皆さん方のご協力をお願い致します。

◆ ビジター

国際ロータリー2780地区第9グループガバナー補佐
鈴木 倅介様 (小田原北RC)
井島 誠行様 (小田原中RC)
露木 勇人様 (小田原北RC)

◆ 会員誕生日

大木 清さん (5月27日)

◆ 奥様誕生日

石崎 ひろ子さん (5月27日)

◆ ニコニコ箱

釘持 悟委員

	ニコニコ箱	累計	目標
5月21日分	32,000	883,040	1,300,000

*ビジター

鈴木 倅介様 (国際ロータリー第2780地区第9グループガバナー補佐) ... 1年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。

井島 誠行様 (小田原中RC) ... 次年度ガバナー補佐を拝命致しました。1年間宜しく願い申し上げます。

*会員誕生日

大木 清さん...誕生日のお祝いありがとうございます。27日で79才になりました。

*その他

鈴木 友徳さん...25年振りの大相撲、楽しかったです。

土岐 博也さん...クラブからのお見舞をいただきました。けっこう元気です。まだまだ頑張ります。

清 康夫さん...5月18日(土)当社フジミ、第20回フジミフェアを開催し、740名のお客様が参加して頂き、無事に終了することが出来ましたので、少々。

河野 秀雄さん...鈴木ガバナー補佐、ご指導ありがとうございました。井島次年度ガバナー補佐、第9グループの為御尽力下さいませ。

本多 純二さん...先週の大相撲見学には、大いに楽しませていただき、ありがとうございます。

杉崎 勝成さん...長期ビジョン策定委員会、本日のフォーラム、御清聴よろしくお祈いします。

須賀 俊和さん...5月26日より、インドネシアに8日間ほど出張します。来週の例会はお休みしますので、宜しくです。

齋藤 永さん...2週お休み申し訳ありません。お陰で今年も美味しい新茶が出来ました。

金山 慶昭さん...鈴木AG、あと少しですが1年間お疲れ様でした。井島次年度AG宜しくお祈いいたします。

釘持 悟・木村 啓滋さん...今日、ネクタイを忘れました。すみません。罰金。



RAC

会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年5月-

- ▶ 29日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話:会員卓話」
- ▶ 30日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム/規定審議会について」
- ▶ 31日(金) **湯河原** 家族親睦会 M.U.受付なし
「」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:ロータリー財団委員会」

-2013年6月-

- ▶ 3日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「卓話:北本省三会員/最近のネット事情について」
- ▶ 4日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:小田原警察署」
- ▶ 5日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話:会員卓話」
- ▶ 6日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話:矢野良並様・NTTコミュニケーションズ/BCD対策について」
- ▶ 7日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:ロータリー財団担当」
- ▶ 10日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「卓話:高梨吉則会員/ips細胞と四つのテスト」
- ▶ 11日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:井島章博会員」
- ▶ 12日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「卓話:会員卓話」
小田原城北RAC マロニエ 19:30
「卓話:タイプ別診断」
- ▶ 13日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「卓話:クラブ協議会・規定審議会について」
- ▶ 14日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:クラブ協議会・会長幹事担当」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 倅介



【会 長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹 事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1799回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2013年5月28日 12:30～13:30
司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：小嶋 章司会長 卓話：河本 親秀様 大磯RC 1996～97年度パストガバナー
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長



国際ロータリー2780地区第9グループガバナー補佐
鈴木 倅介様 (小田原北RC)

この日が来るのがどれほど楽しみだったかという1年間でございましたけれど、反面若干寂しいような気もしております。本日は次年度のガバナー補佐を引き受けて頂いた、井島さんのお供で一言御礼をと思ってお伺いしました。小嶋会長、久保田幹事を始め皆様にはお世話になり、本当にありがとうございました。私のロータリーライフの中でもこの1年間は密度の濃い、楽しい1年間でした。これも皆様のお陰だと思っております。次年度は安心して井島さんにバトンタッチさせていただきたいと思っております。本当に1年間お世話になりました。ありがとうございました。



井島 誠行様 (小田原中RC)

御紹介頂きました、中ロータリーの井島です。今年はクラブの会長をしており、小嶋会長、久保田幹事と一緒に1年間勉強をして参りました。当クラブは私の印象としては、非常に元気の良いクラブです。やはりロータリーはクラブが第一と考えております。是非当クラブの元気の良さを見せて頂きまして、より一層楽しく奉仕に邁進して頂きたいということで、私も力不足ではございますが、お手伝いできればと考えております。是非1年間御一緒によろしくお祈いいたします。

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

- 6月4日 通常例会 12:30**
担当：プログラム委員会
卓話：片桐 晃様/さがみ信用金庫理事長
「さがみ信用金庫と地域との活性化について」
- 6月11日 通常例会 12:30**
担当：プログラム委員会
卓話：松陰弘一様・日本ボーイスカウト小田原地区協議会会長
「未定」
- 6月18日 通常例会 12:30**
担当：プログラム委員会
卓話：中野 明GSE団長・木村なおみGSE団員
「GSE帰国報告」
- 6月25日 通常例会(クラブ協議会) 12:30**
担当：執行部
卓話：執行部
「未定」

例会報告：2013年5月21日（晴れ）第1798回年通常例会

会場：小田原卸センター内会議室

時間：12:30～13:00

❖ 会長挨拶

「タバコを吸うと肺がんになる」は大ウソ

小嶋 章司 会長



国内で禁煙運動が始まった1990年頃の男性について見ると、喫煙者の数は約3000万人。一方肺がん死の数は5万人にもみたくない。喫煙者のうち肺がん死率は0.1%程度なのです。長期的な喫煙と肺がんの関係性を示すには本来喫煙者全体で見なければなりません。しかし、タバコ有害論者たちは、0.1%の肺がん死した喫煙者ばかりに注目し、肺がん死していない大半の喫煙者を無視しています。また、現在は肺がん死が増加しています。特に女性の肺がん死はここ40年で5倍に増えています。しかし、女性の喫煙率は10%台と大きく変動していません。つまり、喫煙が肺がんの原因だとはいえないのです。喫煙によって肺がんになることを証明したデータは存在しません。逆に、喫煙者のほうが非喫煙者より自殺者が少ないというデータや、喫煙者の方が風邪をひきにくいという統計データがあるほどです。

さらにタバコ有害論者たちは、女性のデータを抜きにして男性の肺がん死ばかりを問題にします。女性のデータを入れると前記のようにタバコと肺がんが無関係であることが一目瞭然だからでしょう。また、もともと肺がんが多いアングロサクソン系のデータが中心で、肺がんが少ないラテン系などのデータは用いない、データの取り方自体が偏っているのです。

副流煙の有害性については、さらに根拠が不明です。例えば、20分おきに1本喫煙すると、六畳間で同居する人が1日に吸い込む煙の量はタバコ0.1本分相当です。喫煙している本人に害があるかどうかかわからないレベルの、さらに100分の1程度です。これを「有害だ」と言うなら、現在までの毒物科学をすべて修正しなければなりません。現在、肺がん死は増えているのに、タバコ以外に原因があるという研究は進んでいません。タバコと肺がんを関連付けることに躍起になり、医師や研究者が肺がんで多くの人を死なせているとさえないえるのではないのでしょうか。

《武田邦彦 氏》

東京大学を卒業後、旭化成工業、芝浦工業大学教授を経て、現在、中部大学教授。著書に《早死にしたいくなければ、タバコをやめない方がよい》

《新聞・テレビはデータでウソをつく》など多数

❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



1)5月18日クラブ慶弔規定により、土岐会員にお見舞をお届けしました。土岐会員から皆様にメッセージをお預かりしましたので、ご披露させていただきます。「現在非常に体調が良く通院の許可ができました。3月頃が一番悪く即入院となりました。結構強い薬に変わりましたが、今は最初の軽い薬に戻りました。今も散歩から帰ったところです。例会にも出られる時はできます。皆様にもよろしくお伝えください」とのことです。2)朝方、中野副会長から連絡があり、無事帰国されたそうです。本日は欠席致しますが、皆様によろしくとの事でした。3)掲示板にGSEの一部報告と施設見学会の写真を貼っておきましたので、お目を通してください。

❖ 出席報告

柳井 渉委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
5月21日	49 (46)	34	3	80.43%
5月14日	49(44)	37	1	88.64%
5月7日	49(47)	39	2	89.36%

【欠席者】 12名
中野 明、石崎 孝、上田 博和、西 寛、須藤 公、石橋 徹、小楠 雅昭、小林 和彦、木村 頼弘、高橋 哲也、内山 修一、石内 正彦
【今回MU】 3名
中野 明 (GSE)
石崎 孝 (5/16 小田原中RC)
小林 和彦 (5/19 小田原城北RAC)
【前回MU】 1名
小楠 雅昭 (5/19 小田原城北RAC)
【前々回MU】 1名
木村 頼弘 (5/19 小田原城北RAC)

❖ 卓話

「長期ビジョン」

長期ビジョン策定委員会 杉崎 勝成委員長



当委員会の目的は、中長期にわたる、ビジョンを描き、それに基づき会員御意志の基に進め、魅力あるロータリークラブを維持継続し、楽しいクラブであり続ける為にあります。本日は前半を私が「魅力ある、元気なクラブづくり」をテーマに行います。後半は、当クラブもCLP導入後、運営するに当たり、いくつかの問題がありますが、その点につきましては、露木さんをお願いしたいと思います。さて、当クラブにも色々な継続事業、姉妹提携等、また夢計画に参画すべき新規事業の発案等など、課題が色々あります。本日は何分時間がありませんので、次年度各委員会で話し合ってください、当委員会が執行部に報告して頂きたいと思います。さて、ビジョン達成には3つの柱があります。1つが、クラブサポートの強化。これは方法としては長期ビジョンの策定や3年計画によるクラブの強化などの問題解決方法があります。2番目としては、人道的奉仕の重点化と増強。これはRI未来の夢計画（ポリオ、新世代、財団、米山）などがあります。3つめは公共イメージと認知度の向上。この方法として、社会奉仕、職業奉仕（地域ボランティア）などになっております。本日はこの中からクラブサポートの強化に絞りたいとおもいます。「魅力ある、元気なクラブ作り」をテーマに行います。色々な切り口があると思いますが、魅力あるクラブでのバロメーターとして、出席率に注目しました。今日も楽しく出席をしたい、出席が楽しみだ、と言われるようなクラブ作りとして行きたいと思います。本日はその点を、新会員、中堅、ベテランと御意見を聞きたいと思います。

櫻井 康二さん



魅力ある元気なクラブ作りと聞きまして、私が一番に感じた事は、「元気で楽しいクラブ」何だなと思いました。それを作るにはどうしたら良いのかなと自分の中で考えて、入会して2年弱なのですが、心がけてきた事は、挨拶をしようじゃないかという事を心がけてきました。私から積極的にお声掛けしてきたつもりです。お昼なのですが、初めて顔を合わせて「こんにちは、今日はよろしく願います。」など声を掛けて声を掛けて頂ける、そのコミュニケーションが、まず第1歩なのではないのかなと思います。そのコミュニケーションから会話が始まり、あちらこちらのグループで会話が始まってくると、会場の中がコミュニケーションで溢れて会話が溢れてくる。そうすると元気で活気がある会場になるのかなと私は思っています。あと魅力あるクラブ作りで

すが、卓話の内容であつたりだとか、親睦であつたりだとか、会場の雰囲気などみんなで丸となって楽しいクラブを作って行きたいなと思っております。そのためにも入って来ての挨拶をしてそこから会話の輪が広がって行って、この会場の中で色々な話の音が飛び交うようになれば、元気で楽しいクラブ作りにもなり、そこから出席率の向上にもなっていく、良い連鎖が来るのではないかと私は思っております。

志澤 昌彦さん



私が考える魅力あるロータリーということで、まず一つ自分自身もロータリーに在籍した中で、正直な話辞めたいなとか、辞めようかなと思った時期もありました。しかし、その時ちょっと考えた事が、ロータリーに何を求めても何も帰って来ないと思います。ですので、私自身がロータリーに何かを求めるのではなく、自分からロータリーに積極的に関わっていく。をしらない限り、ロータリーから何も帰って来ないんじゃないかなと言う事が実感としてありました。いつまで経っても受け身の立場で待っているのではなく、楽しみながら、自分を高めようなどがない限りロータリーの意義というのは難しいのではないかと思います。ロータリー自身のコンセプトだとか、考え方というのは私は素晴らしいと思っております。これはあくまでも文字に書いていただけだと思います。それを具現化するのには私たち一人一人のロータリアン、特に城北なら城北クラブに集った人たちの魅力が本当にロータリーの魅力なのではないかと思います。それでもやはり、しんどいと思う時もありました。そんな時に例会に来た時には顔に出てしまっているのです。そんな時に先輩方に「おい、志澤！」と言って頂けるのです。この一言が非常にうれしいのです。ある意味、自分自身の事を気にかけて頂いている事。逆に何かそのような事があれば、自分自身も周りに対して少し配慮をすることがものすごく重要です。ですので、一人にしない事とか、孤独にしないような、そういった環境作りもとても重要だと思っております。最後に私自身が思えるのは、ロータリーというよりは、自分自身が、城北人としての誇りを持てるかどうか、そこがものすごく大切なのかなと思うのです。この城北ロータリーに入ってやっぱり良かったと思えるかどうかだと思います。出席率の事を言うと、これは自分で改善しなければ、絶対に無理だと思います。来て下さいと言っても自分の意識が改革しない限り中々難しいのかなと思いますので、来ていただいた方にお声掛けをして頂いて盛り上げて行く、自分が逆の立場だと助けられたことがものすごくありますので、私自身そういった事に留意しながらやっていきたいと思っております。

本多 純二さん



このクラブに来るのが楽しく、皆さん方と顔を合わせるのが楽しくなれば、皆さん方がそういう事を考えれば自然と出席率も上がってくるのではないかと思います。どうしたら来るのが楽しくなるのかなと思います。私も志澤さんと同じように入会したてはクラブに来るのが、きつくて、きつくて、皆さんの中に溶け込んで理解しようと思ってても中々理解出来なかった時期があり、私自身ロータリーを続けられるのかなと思っていてた時期もあったのですが、ロータリーには色々な委員会があります。それを皆さんと一緒にやっていくと仲間の意識が生まれて、そこに絆が生まれてくるのです。ロータリーの良さというのは、それが毎年、毎年、色々な委員会をやらされますので、その中でまた新しい仲間と交流が深まって、新しい絆が生まれてくるのです。これが毎年続いていると皆さんに会うのが楽しみになってくるのです。ロータリーとは確かに立派な会ですが、ロータリーよりも皆さん方の仲間の中に絆として生まれる様な活動をすれば自然にロータリーになじめてくるのではないかなと思います。ロータリーというのはアメリカで誕生しました。向こうはキリスト教の世界ですので、毎週日曜日に礼拝堂に行く習慣があります。それと同じように私はここを礼拝堂だと思っております。そこで皆さんと素晴らしい話を聞かせていただき、シャワーを浴びてリフレッシュして帰って職業奉仕をします。クラブにくるとというより、皆さん方に会いに来るのです。皆さん方、50人が50人の良い所がありますので、良い所をどんどん自分から吸収していくのです。そうするといつの間にか自分がクラブ溶け込んでいくようなになれば出席率も自然に良くなるのではないかなと感じます。

「CLP導入後の問題点」

露木 清勝さん



ちょうど今年の小嶋年度が始まって間もなくの2、3回目の幹事会だったと思うのですが、地区の財団の副委員長だった山田さんが来て未来の夢計画の話をするので、お前も勉強に来いということで、鈴廣さんまで行って初めて財団の話聞いたのですが、最初聞いた時には何も分かりませんでした。その後、秋から冬にかけて地区のセミナーがあり同じ話を聞くうちに何となく分かってきたつもりでいたのですが、その時に感じた事は、RIと我々クラブとの距離感と言うのでしょうか、RIが一生懸命やろうとする事について我々があまりにも知らなすぎるなという事があります。3月のPETSの時もそうだったのですが、RIの一番の関心事は、ポリオプラスでポリオの撲滅です。もしかすると来年度中にはポリオが撲滅出来るというような話もありました。もしかするとその後、ノーベル賞にノミネートして、RIがノーベル賞を貰うというようなお話もちらっと伺いました。そんな事を聞いているとポリオが無くなるのだろうかと感じるのです。

そうこうしている、次年度の会長幹事会では、ポリオ撲滅までにはまだあと3年間で7500万ドルいるので年間2500万ドルまだ欲しい、会員一人当たりになると、40ドルだということです。そういう意味でRIと我々の距離感がすごくあるなと感じています。相澤さんがPETSの時に言っていたのですが、世界中のガバナーが集まって来年のロンディー・パートンさんがロータリー財団に寄付をしようということ、全世界のガバナーに呼び掛けて財団に寄付をしたそうです。それに順じて、各地区の次年度のエレクトが寄付をして下さいと数カ月前からきているのですが、我々の年度の会長幹事会ではちょっとおかしいよな、今年度の寄付になんでまた我々がしなければならぬのかという話があり、あまり積極的な話はありませんでした。自分の中でも色々な意見を持っているのですが、ロンディー・パートンさん、相澤ガバナーを信じて寄付をしてみようということで、自分なりにエレクトとして寄付をしました。寄付をするだけはいけなくて、自分自身がもっとロータリー財団、RIに関わっていかなければいけないと思います。地区で行っている青少年交換という事業も、色々なクラブで色々な抵抗があります。担当の委員会は非常に一生懸命やって、その現場に行くと良く分かるのです。子どもたちが1年間日本に来て、あるいは外国に行って、最初に来た時と1年後に子どもたちが話す言葉が全く変わってくるのです。成長した姿を、担当した委員会のメンバーは良く分かっているのです。そういった意味でも我々が青少年交換に関わっていかなければいけないのですが、時には問題がありますので、問題の煩わしさが何となく否定的な意見となって出てくるのかなと思います。それもロータリー財団の寄付なんて事に繋がっていくのかと思いますし、その辺を我々もこれからRI、地区を含めてもう少し積極的に関わっていかなければならぬのかなと思っております。それから我々のクラブの方ですが、CLPについては3年前に当クラブは2780地区で一番遅かったという採用の経歴があるのですが、私もその当時から関わっており、来年会長をするということもあり、もう一度組織を見直しますと、ちょっと奉仕プロジェクト委員会と言うのがどうもうまく機能していないというのが実感です。というのも今年で言うと、奉仕プロジェクト委員長を杉崎さんがやられており、その下に委員会として世界社会奉仕委員会河野さん、新世代育成委員会大川さんが委員長をされております。更にその下にプロジェクトリーダーとしてアラリアプロジェクトが金山さん、国際交流プロジェクトが本多さん、チャリティープロジェクトが辻村さん、ローターアクトプロジェクトが木村さんという形で4人のプロジェクトリーダーがおります。我々のクラブの規模で言うと組織が大きすぎるのかなと思います。大委員長がおり、中委員長、委員長がいるような形で活動していますので、中委員長の影が薄くなってしまっていますので、クラブとしてあまりよくないような気がしますので、来年は世界社会奉仕委員会に志澤さん、新世代の委員長に柳井さんという形で、すぐ下の社会奉仕の委員長に同じ志澤さん、チャリティーの方を柳井さんという形で中委員長に直接プロジェクトリーダーもお願いするようにしました。この辺は皆さんの御意見を聞きながら、将来的には組織を変えていかなければいけないと思います。

奉仕プロジェクト委員会というのは変わらないのですが、その下の委員会を単刀直入に社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、新世代育成委員会、職業奉仕委員会の4つに絞れば私は良いと思っております。特